

乳癌の腋窩郭清省略に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年 3月 2日 ～ 2023年 3月 31日

〔研究課題〕

術前化学療法を施行した臨床的リンパ節転移陽性乳癌における腋窩郭清省略の可能性

〔研究目的〕

術前化学療法を行ったリンパ節転移陽性乳癌の手術で腋窩リンパ節郭清省略が可能であるかどうかを解析します。

〔研究意義〕

リンパ節転移陽性乳癌では術前化学療法後にリンパ節転移が消失となった場合でもセンチネルリンパ節生検の精度が低下します。しかし、アンストラサイクリンとタキサンを含む術前化学療法により約 40%の症例でリンパ節転移が消失するため、症例を選択すればセンチネルリンパ節生検による腋窩リンパ節郭清省略が可能であると考えられます。そこで、術前化学療法後の腋窩リンパ節転移の病理学的完全奏効の予測因子としてのサブタイプの有用性について解析します。

〔対象・研究方法〕

2015年1月1日から2020年5月31日までに当院で術前化学療法を施行したリンパ節転移陽性乳癌100例の診療録(術前化学療法の治療内容、超音波、造影MRI、PET-CTなどの画像データ、病理検査結果)を参照し、データを解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報に十分配慮し、匿名化を行います。研究終了後にデータセットを倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターにて10年間保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 神野浩光 帝京大学医学部 外科学講座 教授

研究分担者： 松本暁子 帝京大学医学部 外科学講座 助教

塚原大裕 帝京大学医学部附属病院 シニアレジデント

梅本靖子 帝京大学医学部附属病院 シニアレジデント

山田美紀 帝京大学医学部附属病院 シニアレジデント

佐藤綾奈 帝京大学医学部附属病院 シニアレジデント

杉原優花 帝京大学医学部附属病院 シニアレジデント

鳴瀬祥 帝京大学医学部附属病院 シニアレジデント

所属： 帝京大学医学部 外科学講座

住所： 〒173-8606

東京都板橋区加賀 2-11-1

TEL:03-3964-1211

(代表) [内線 33615]